

事業番号	259
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市営住宅施設整備事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	建築課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	営繕係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		15 地域福祉		2 地域で支え合いながら暮らせるまちを築く				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	5	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	公営住宅法・小牧市市営住宅条例・小牧市公営住宅等長寿命化計画									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市営住宅や共同施設を適切に整備し、住宅に困窮する低額所得者に住宅を供給することにより居住水準の向上を図る。									
	内容 (手段)	<p>下記、市営住宅の適正管理のため、適宜、改修工事等を行う。 鷹之橋住宅 24戸(1棟) 大輪住宅 68戸(3棟)</p> <p>○24年度実施内容 ・実績なし</p> <p>○25年度実施内容 ・小牧市公営住宅等長寿命化計画により築25年を経過する住宅から順次、屋根及び外壁等の改修工事を行う計画としており、平成元年に建築した鷹之橋住宅が平成26年度に25年経過するため、改修工事をするための設計業務を委託する。</p> <p>○25年度直接経費の内訳 ・鷹之橋住宅屋根外壁等改修工事設計業務委託料(2,868千円) 【財源の内訳】 国費(924千円)＋特定財源(1,944千円)</p>									
	受益者負担	有		家賃収入(1,944千円)							

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	6,056	2,129	0	2,868
	正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.00	0.20
		人件費	千円	1,332	1,332	0	1,066
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	7,388	3,461	0	3,934
対前年比		%		46.8	0.0	#DIV/0!	
財源	一般財源	千円	1,332	1,332	0	1,066	
	国・県支出金	千円	0	0	0	924	
	その他財源	千円	6,056	2,129	0	1,944	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	工事件数	件	目標	3	1	0	1
			実績	3	1	0	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	入居率	%	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		
	事業の達成状況	平成24年度は特に事業はなかったが、施設を適正に整備しているため成果指標である入居率を100%に確保している。	
	事業実施における課題	計画的に修繕や改修を行うことにより、施設の長寿命化及び、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	現在ある市営住宅は、平成元年、3年、5年及び12年に建設されており、古いものは築20年を超えている。今後施設の老朽化による修繕や改修等増加することが予測されるため、事業を廃止すると住環境の悪化等により、住宅供給に支障をきたす恐れがある。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	
		小牧市公営住宅等長寿命化計画に基づき、平成26年度に鷹之橋住宅の屋根外壁等改修工事を計画しており、そのための設計業務委託を行う。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	施設の長寿命化型改善などの手法を取り入れ、事業の効率化を進めつつ、今後も施設を適切に整備し、住宅に困窮する低所得者に住宅を供給することにより、居住水準の向上を図る必要がある。	
	26年度以降の改善案	耐久性の向上等の改善手法を導入し、施設の長寿命化を図る。また、平成22年3月に小牧市公営住宅等長寿命化計画を策定しており、平成26年度から順に長寿命化型改善をすることにより、修繕周期の延長などライフサイクルコストの縮減を図ってきたい。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。ただし、ファシリティマネジメントの視点から、計画的に改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。